

# 重 要 記 録

## 1 流通業務団地への進出率が100%に（4月）

米子流通業務団地の最後の1区画に運送業の上田コールド株式会社が進出した。これにより、流通業務団地への進出率は100%となり、全40区画、21.5ヘクタールが埋まった。

## 2 日展米子展が17年ぶりに開催（4月）

4月19日から5月18日までの30日間、美術館と図書館2階多目的研修室を会場に、17年ぶりの日展巡回展となる「第45回日展米子展」を開催した。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5部門で、鳥取・島根両県の地元作家の作品を含む約300点を展示。期間中、25,044人の入館者でにぎわった。

## 3 企業進出続く（5月、8月、10月、2月）

5月にペットボトル入りミネラルウォーターを製造する永伸商事が操業開始、8月にはマックスサポートが駅前パーキングビルに第2オフィスを開設、10月にはWELLCOM（ウェルコム）がイオン駅前店4階に米子コンタクトセンターを開設、さらに、福利厚生代行サービス大手のイーウェルが2月に米子オペレーションセンターを開設した。平成26年度に誘致した企業の最終的な雇用は600人以上を見込んでいる。

## 4 米子市議会議員一般選挙（6月）

6月22日に、「米子市議会議員一般選挙」が行われた。このたびの選挙は、議員定数が30人から4人減の26人に改正されて以来、初となる選挙であり、29人が立候補の届出を行い、選挙の結果、新人議員11人を含む26人の新議員が誕生した。

## 5 米子市議会基本条例及び米子市議会議員政治倫理条例の施行（7月）

議会及び議員の活動原則等の議会に関する基本的事項を定めた「米子市議会基本条例」及び議員の政治倫理や議員の責務等を定めた「米子市議会議員政治倫理条例」が7月1日に施行された。

## 6 2期米子市中心市街地活性化基本計画を策定（9月）

平成20年11月に策定及び国の認定を受けた米子市中心市街地活性化基本計画の計画期間が平成26年3月に終了したことに伴い、引き続き中心市街地活性化に取り組むため、米子市独自の2期米子市中心市街地活性化基本計画を策定した。

計画期間：平成26年4月から平成31年3月

## 7 第二学校給食センター竣工（12月）

平成27年4月からすべての中学校において給食を提供するために整備していた一日5,000食規模の第二学校給食センターが12月26日に竣工した。オール電化の学校給食調理場として整備し、アレルギー専用調理室、見学ホール、調理実習室を設置した。

## 8 日本消防協会特別表彰「まとい」受章（3月）

米子市消防団は、平成27年3月10日、第67回日本消防協会定例表彰式において、消防団の最高榮譽である特別表彰「まとい」を受章した。

「まとい」は、全国に約2,220団ある消防団のうち、毎年10団のみが受章できる特別な表彰で、全国消防操法大会において入賞するなど、長きにわたる様々な成績維持や、さらなる向上を目指した消防団活動が認められ受章に至ったものである。

## 9 「新米子市誕生10周年記念式」を開催（3月）

旧米子市と旧淀江町との合併により新米子市が誕生してから10周年を迎え、3月31日に米子市公会堂で「新米子市誕生10周年記念式」を開催した。当日は、米子市功労者善行者表彰式のほか、「米子市の歌」の披露や淀江さんこ節保存会による郷土芸能「淀江さんこ節」の演芸披露なども行い、およそ550名が来場し、10周年の節目をお祝いした。

## 10 「米子市の歌」を制定（3月）

新米子市誕生10周年を記念して、平成27年3月31日に「米子市の歌」を制定した。平成26年6月から全国に公募し、歌詞63作品・曲52作品の応募があった。米子市の歌選考委員会委員によりそれぞれ最優秀作品を選考し、その最優秀作品をもって「米子市の歌」を制定した。

同日に開催した「新米子市誕生10周年記念式」において、鳥取県西部合唱連合の皆さんの歌声により、「米子市の歌」を市民に披露した。

## 11 米子鬼太郎空港におけるスカイマーク㈱による国内航空路線再編

4月1日、羽田（2往復）、新千歳（2往復）、那覇（1往復）の3路線が新規に就航した。

10月26日、直行便の成田線・羽田線・新千歳線が運休し、羽田線（神戸乗継2往復4便）、新千歳線（神戸乗継1往復2便）、宮古線（那覇乗継1往復2便）、石垣線（那覇乗継1往復2便）が就航した。

2月1日、直行便の神戸線（1往復2便）となり、神戸経由便の茨城線、神戸乗継便の新千歳線が運休した。

3月29日、神戸乗継便の羽田線、那覇乗継便の宮古線、石垣線が運休した。

## 12 ふるさと納税

地元企業とタイアップし、本市特産品のPRを目的に実施している「ふるさと納税」の取組は、各種メディアに取り上げられたこともあり、平成26年度の寄附件数は前年度の約1.64倍の40,124件、寄附金額は同じく約1.70倍の4億7,568万9,617円と、全国トップクラスの実績となった。

寄附金は全額「がいなよなご応援基金」に積立て、寄附者から指定された用途に活用しており、主な事業として、米子市立図書館に「がいなよなご応援基金文庫」を設置し、蔵書の充実に努めた他、「児童発達支援センターあかしや」通園バスの整備、中海環境学習の支援等を行った。